

岩倉市議会 議長 様

## 復命書

平成 28 年度の岩倉市議会厚生・文教常任委員会の行政視察での調査を次頁以降の通り復命する。

平成 28 年度 岩倉市議会 厚生・文教常任委員会

平成 29 年 2 月 8 日 午前 10 時から午後 11 時 45 分まで

<<健康都市について>> 「愛知県大府市」

ご対応いただいた皆様

大府市議会 議長	深谷 直史 様		
大府市役所 健康文化部 健康都市推進室長	長江 敏文 様	健康文化部 健康推進課長	阪野 嘉代子 様

ほか 議会事務局の皆様

#### 調査項目

<<健康都市の取り組みについて「めざせ 健康寿命日本一」>>

冒頭、大府市の概要の説明のあったあと、①「健康づくり都市の歩み」、②『「健康都市おおぶ」を推進するために」、③「新たな取り組みについて」の説明があった。

#### ①健康づくり都市の歩み

昭和 45 年の市制施行後の第 1 次大府市総合計画の中で、「健康都市」の実現をまちづくりの基本的な理念としてスタートした。その後「健康づくり宣言」「市民健康づくりマスタープラン」「総合保健福祉計画」「新健康おおぶ 2 1 プラン」などを策定してきた。

この中で、世界保健機関（WHO）の「健康都市連合」に加盟をした。

#### ②「健康都市おおぶ」を推進するために

「新健康おおぶ 2 1 プラン」の中で、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「認知症・介護予防」「休養・こころの健康」「たばこ・アルコール、歯・口腔の健康」、「健康・がん検診」「健康を支えるまちの環境整備」「健康を支える地域の力の強化」で多面的に多義にわたって各種施策や行事が行われていた。

この結果、大府市の平均寿命は愛知県平均を上回っているが、目標値として設定している「生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合や、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合」「要介護 2～5 の認定率」は達成できていない。

#### ③新たな取組み ～おおぶ一生元気ポイント～

市のポイント対象事業に参加することによりポイントシールを集め、協力店でサービスが受けられる仕組み。協賛企業のご厚意により成り立っている。引き続き健康増進へ向けて続けていきたい。

その後、45 分ほど質疑応答を行った。委員各位からたくさんの質問をいただいた。記載事項の細かい説明や、目標値・実績値の検証結果を検証する質問がなされた。

<<所感>>

大府市は名古屋から電車で15分の位置にあり、名古屋のベッドタウンであるという点は岩倉市と似ている。

病気になった時に健康のありがたみがわかる。10月の委員会の視察で訪問した千葉県市川市でのお話で、「愛知県であれば、大府市、尾張旭市が先進的な取り組みをしています」との紹介をうけて今回の視察となった。

まず市役所の各種看板には「健康都市おおぶ」という表記があった。また封筒にも同様の記載があり、常に「健康」という文字に触れる環境があった。

健康といえば「運動」や「体を動かすこと」がメインかなと思ったが、各種施策は「食生活」、「運動」、「介護予防」、「休養」、「嗜好品（たばこ・アルコール）対策」、「口腔環境」、「検診」、「まちの整備・人の強化」などの多義にわたっている。「健康」という施策が、市役所の健康課や保健センターだけでは完結しない多面的な施策であるという証拠である。

また大府市には、愛知県の施設である「あいち健康の森」「愛知健康プラザ」「小児保健医療総合センター」がある。これも健康施策を進めるきっかけになっているのかもしれない。

「健康で明るい緑の文化都市」を都市将来像に掲げる岩倉市においては、大府市を見習って健康施策を展開していく必要があるため、そのために今回の視察は参加議員にとって、また委員会にとって有益であった。

(文責=櫻井)